

新しい道を切り拓いた いわたの女性たち ②

いわての女性史を切り開いた くまがい よしえ 熊谷 佳枝

このシリーズを掲載するにあたり、「生きて、耀いて～変動期を生きぬいた女たちの記録～」を参考図書に19回にわたって掲載することができました。20回の締めくくり今回はその著者である熊谷佳枝さんの軌跡を辿ります。

岩手の女性史研究や生活・環境問題などの草分け的な存在であった熊谷佳枝。1914年(大3)中国大連市に生まれる。1927年(昭2)に父の満鉄退社と共に盛岡に帰る。1931年(昭6)に県立盛岡高等女学校(現盛岡二高)を卒業。その後、岩手県児童文化協会職員などを経て、1948年(昭23)から1964年(昭39)までの16年間を岩手日報社に勤務する。当時、数少ない女性記者として活躍。「東北文庫」、「こどもしんぶん」などの編集や学芸部記者として主に婦人家庭欄を担当し、女性の問題にかかわった。1955年(昭30)には、新聞労連全国青婦協設立と共に副議長も務める。

退社後は、女性史研究の他に消費生活問題や環境分野の研究にも関わった。1972年(昭47)には、岩手県生活問題研究会を設立し、水質、合成洗剤問題などの調査に取り組んだ。1990年(平2)には経済企画庁消費者保護功労賞を受賞。

女性史研究の中で大きな業績の一つに1981年(昭56)に岩手県が発行した「岩手の婦人」の執筆がある。同書は岩手の女性たちの歩みと婦人白書を兼ねたもので、1975年(昭50)国際婦人年世界会議において採択された「世界行動計画」の流れをくむ女性施策の一環として、当時の青少年婦人課主幹の桑原イト子が企画したものである。企画は認められたが編集期間や予算は厳しいものであったという。その限られた条件の中で佳枝は誠実に取り組み発行するに至った。

その後1998年(平10)、佳枝は明治から昭和に活躍した岩手ゆかりの女性74人をまとめた「生きて、耀いて～変動期を生きぬいた女たちの記録～」を出版した。

2010年(平22)8月、佳枝96歳で逝去。佳枝は、生前から孫に「ていねいに生きる」というメッセージを残していたという。

出版した書籍タイトルのとおり、佳枝自身が「生きて耀いて」いた女性そのものであった。

● 女性相談 (本館)

相談受付電話 **019-604-3304**

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~	20:00	
木	10:00 ~	20:00	
金	10:00 ~ 17:00		

(第2火曜日、年末年始、祝日は休み)



もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

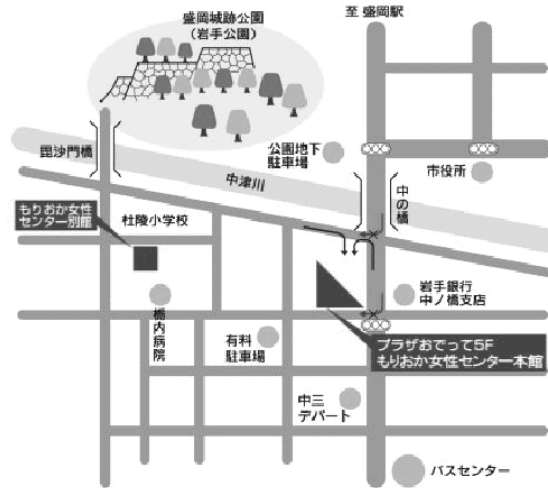
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00まで)
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町 2-8
電話番号 (019) 624-3583 (FAX 兼)
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



(バス)
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あともがき

- ◆さんさ踊りが終わり太鼓の音が消えたと思ったら、8月の下旬から毎日夜6時になると別館に八幡宮祭の山車のお囃子の練習の音が聞こえてきます。祭りの音は、何となくワクワク！残暑が厳しく暑い暑いと言いながらも季節は確実に秋が近づいていると感じながら毎日聞いています。(N)
- ◆本館新刊図書に「働く女子の夢」という本があります。さまざまな職種で働く女性たちの写真やコメントなどが載っていてページ数も少く読みやすいです。忘れがちだった、自分はどうありたいのかを考える一冊でした。「キラキラ女子」・なるほど！(A)

ひとひと
一女と男、ともに参画する社会をめざして

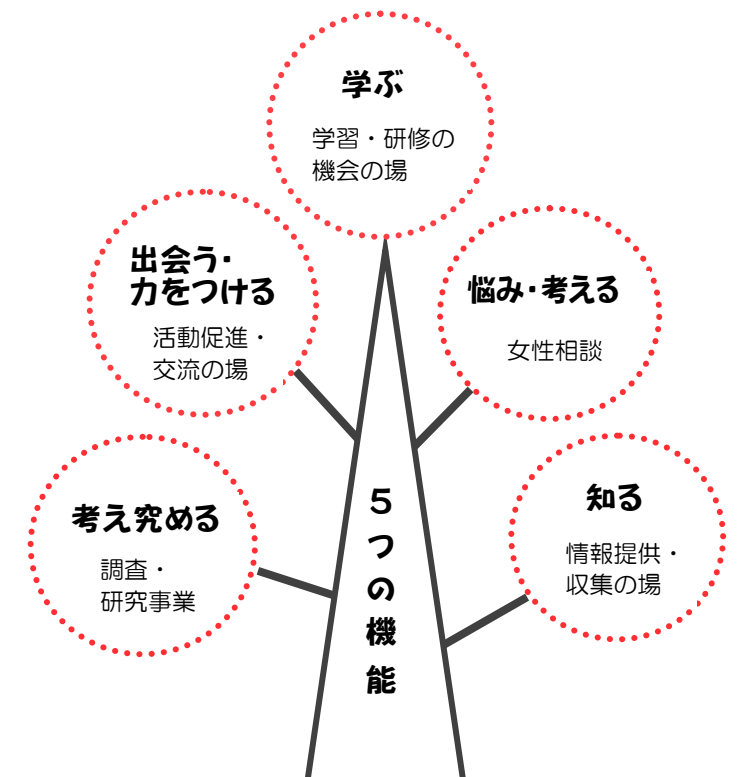
もりおか女性センター

2012年
9月
No. 38

ニュースレター

内容

- ◎ 受賞報告
- ◎ イベント情報「女性センターフェスティバル2012」
- ◎ 講座・事業案内
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわたの女性たち②
～いわての女性史を切り開いた「熊谷佳枝」～



平成24年度事業テーマ
『学び、つながり、切り拓く!』

発行：もりおか女性センター

内閣府

「女性のチャレンジ賞特別部門賞」受賞

報告

もりおか女性センター指定管理者であるNPO法人参画プランニング・いわてが、被災地支援活動を通じて今年度の内閣府「女性のチャレンジ賞特別部門賞」という荣誉ある賞を受賞しました。



この表彰は、内閣府により平成16年度から、男女共同参画社会の実現のための機運を高める事を目的として「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」をはじめ、「女性のチャレンジ賞」等が創設されました。「女性のチャレンジ賞」は、起業、NPO法人での活動、地域活動にチャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループにおくられます。

今年度の受賞は、「内閣総理大臣表彰」12人、「女性のチャレンジ支援賞」1件、「女性のチャレンジ賞特別部門賞」(防災・復興)4件、「男女共同参画週間キャッチフレーズ表彰」1人でした。そしてNPO法人参画プランニング・いわてが「女性のチャレンジ賞特別部門賞」4件の中に選ばれました。

表彰式は、6月22日総理大臣官邸において行われ、平賀理事長と田端副理事長(もりおか女性センター長)が表彰式に出席しました。



—受賞者の皆さん(総理大臣官邸にて)—

講座情報

おしゃべりルーム

「ママのゆるーりカフェ」



子育て、家事や育児など一人がかかえ込んでいませんか?同じくらいのお子さまをお持ちのママ同士でおしゃべりをして、もやもやを解消しましょう。

これは、批判されない安全な場でお互いの体験や話を聞きながら解決のヒントを探すためのルームです。話すことが苦手な方でも心配いりません。安心してご参加ください。

日時: 9/25(火) 10:30~12:30

対象・定員: 20~30代の子育て中の女性 8人

会場: もりおか女性センター本館

参加費: 無料

託児: 有料(6ヵ月~未就学の子ども1人につき500円)

申込方法: 9/18(火) 10:00~

電話 604-3304 にて先着順に受付

イベント情報

「もりおか女性センターフェスティバル2012」

開催日時: 10月5日(金)~10月7日(日)

(平成24年度事業テーマ) ~学び、つながり、切り拓く!~

本館では映画会と、市民団体によるワークショップや展示。別館では利用団体の作品展示や演技発表と茶席。また、女性のための「起業応援ルーム芽でるネット」のルーム公開が行われます。

別館会場

10/5(金)・6(土)

見に来てね!



●別館利用団体による成果発表

日頃別館を拠点として活動している皆さんの年に一度の成果発表会です

【時間】5日(金) 10:00~17:00

6日(土) 10:00~16:00

【内容】作品展示・演技発表・お茶席など

●起業応援ルーム芽でるネット

芽でるネット紹介の他、パソコンやインターネット活用方法をスタッフがご案内します

【内容】ルーム公開・IT体験など

気軽に参加ください!



■市民団体支援事業

テーマ: 地域活動と男女共同参画

10/6(土)

本館会場

(1) ワークショップ……【おでって3F 大会議室】

①『わたし』のふっこう(復興・復幸)

~いわてのふっこうと女性のチカラ~ 13:30~16:00

団体名: エンパワーメント11(いわて)

(2) 展示……【おでって3F ロビー】 ※展示のみ6~7日

①「カジダン(家事男)レシピ紹介」

団体名: COO会(くーかい)

②「私たちのエンパワーメント第一歩!

~これまでの学びと気づき、そしてこれから~

団体名: 気づきの会いわて

③「にじいろの学校

~安全で『わたし』らしくいられる学校をめざして~

団体名: 岩手レインボー・ネットワーク

おでってホール
イベント
10/7(日)

■映画「マルタのやさしい刺繍」上映とトーク

トーク: 松本侑子さん(映画評論家/ジャーナリスト)



見つけたの、生き甲斐を、喜びもね。そう生きる喜びよ。歳は関係ない!

80歳のマルタの若かりし頃の夢は、「ランジェリーのお店をオープンさせる」こと。
“夢への扉”を開く勇気があれば、人生の輝きは何度でもやってくる!

開催時間: 13:30~16:00(開場 13:00~)

開場: おでってホール(定員 120人)

入場料: 前売券 500円 当日券 800円

※前売券は、おでって2F 観光文化情報プラザにて販売



松本侑子さんのプロフィール
(映画評論家/ジャーナリスト)

1968年~1999年共同通信社記者。2000年~2009年十文字学園女子大学教授。日本記者クラブ、日本ペンクラブ、日本映画ペンクラブ会員。現在月刊誌「婦人友」女性情報「We Learn」(ウィラーン)に女性の目で見えた映画評を長期連載中。

●事業のご案内

「なくそう! 女性に対する暴力 2012」

イベント期間: 11月9日(金)~15日(木)

内閣府が提唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12~11/25)にあわせて、毎年取り組んでいます。女性に対する暴力には、DV(ドメスティック・バイオレンス)や性犯罪、売買春、人身取引、セクハラ、ストーカーなどさまざまあります。これは女性に対する人権を侵害する行為で、犯罪です。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

イオン
会場

11/10(土) 12:00~14:30
イオンモール盛岡南3F

今年も街頭キャンペーンを行います!

11/12(月) 11:00~13:00
肴町商店街 北日本銀行前

肴町
会場

パープルリボンプロジェクトのリボン制作体験コーナー、展示、クイズ、など。ぜひお立ち寄りください!